



コンサートの様子



「ほっとサロン」開設 20 周年記念コンサートを開催しました

がん患者・家族サポートセンター センター長

がん専門相談員 (MSW)

たむら けんじ
田村 研治
いまおか さおり
今岡 佐織

がんサロンは、2006 年 6 月のがん対策基本法の成立と、全国初となる島根県がん対策推進条例の制定を契機に、がん患者さんや家族が集まって体験や思いを語り合う交流の場として県内各地に広がりました。当院「ほっとサロン」も、2006 年 7 月の開設当初から、がん患者さんやご家族が安心して思いを話し、ほっと心を休める場として親しまれ、今年で 20 周年を迎えました。これまで活動を支えてくださった歴代のお世話役の皆さまをはじめ、多くの方々の温かいご支援に心より感謝申し上げます。

2026 年 7 月 8 日 (水)、コロナ禍で中止となっていた記念コンサートを 6 年ぶりに開催しました。当日はエレクトーン奏者の LiLica* さんをお迎えし、玄関ホールに親しみのある楽曲が響き渡りました。入院中の患者さんからは、「久しぶりに生の音楽を聴き、声に出して歌うことができて心が軽くなった」との声も聞かれました。参加者は音楽に耳を傾け、ともに歌いながら心温まるひとときを過ごし、20 周年という節目を感謝の気持ちとともにお祝いしました。

がん治療を経験した方々が思いを語り合い、気持ちを分かち合うことは、孤独感や不安の軽減につながります。これからも「ほっとサロン」が心安らぐ場であり続け、笑顔の輪が広がることを願っています。

ほっとサロン

開催日時：毎月第 2、第 4 月曜日 10 時～12 時 ※祝日、年末年始、盆休みを除く
場所：外来中央診療棟 3 階 外来化学療法室前

問い合わせ先

がん患者・家族サポートセンター TEL:0853-20-2545

令和 7 年 ワークライフバランス川柳 優秀作品

賞名	受賞作品	ペンネーム (又は氏名)
石原病院長補佐賞	老いていく 母の笑顔の 愛おしさ	息子の思い
矢野病院長補佐賞	口角を 上げて気持ちも 上向きに	めめもも



Shimane University Hospital
島大病院ニュース

2026 年
9 月
Vol.155

NEWS



CONTENTS

表紙：ロボット手術管理部 教授 山本 徹

中表紙

- ・産科診療科長のご挨拶
- ・新生児開心術において術後軽快退院連続20例を達成しました

裏表紙

- ・「ほっとサロン」開設 20 周年記念コンサートを開催しました



産科診療科長のご挨拶

産科診療科長 みなもと 皆本 としこ 敏子

このたび、産科診療科長を拝命いたしました皆本敏子と申します。私は1996年に本学を卒業し、県内外の病院で研鑽を積み、現在は主に産科診療に携わっています。約30年にわたり島根県内で診療を行っておりますので、これまでも県内の産婦人科診療機関や医師、助産師の皆様と協力しながら診療にあたり、周産期診療の体制整備に尽力してまいりました。

近年は少子化を背景に、正常分娩は減少傾向にありますが、妊娠・分娩を取り巻く環境はより複雑化し、多様化しています。またハイリスク妊娠の数は減っていません。さらに産科診療では無痛分娩やプレコンセプションカウンセリング、出生前診断などニーズやサービスも多様化しています。産科診療に対する皆様のニーズに高いレベルで対応していけるよう、スタッフ一同今後も精進して参る所存です。

島根大学の使命として島根県内の産婦人科医療が引き続き維持・発展できるよう人材育成や体制の整備が求められています。産科救急や災害対策など他科や行政、他施設との連携を十分に行いながら島根県の妊産婦を含めたご家族を守り支えていく仕組みをさらにしっかりと構築していきます。本学産科婦人科学講座金崎春彦教授が掲げる「産婦人科医療の最後の砦」として当院が確実に機能するよう今後とも医局員と共に精進してまいります。

今後も皆様のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



問い合わせ先 産科婦人科学講座 医局 TEL:0853-20-2268

新生児開心術において 術後軽快退院連続 20 例を達成しました

小児心臓血管外科 教授 なかた 中田 ともひろ 朋宏

先天性心疾患の外科治療において、生命リスクの高い手術に、新生児開心術があります。

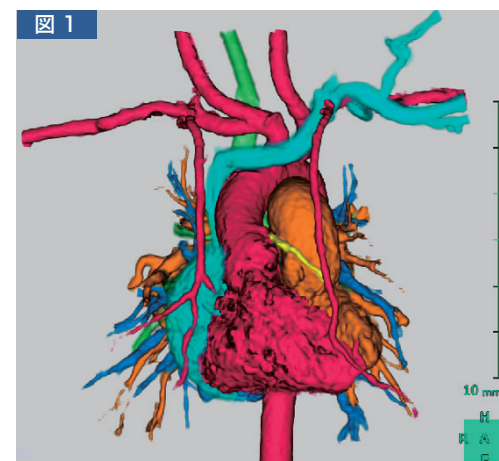
成長するまで待てない、あるいは待つべきではない疾患を対象とする「新生児開心術」は、複雑心奇形が多く、また体のサイズも小さく、余力の少ない生後28日以内のお子さんに対して人工心肺を廻して行う手術です。日本胸部外科学会の年次全国統計によると、年ごとに多少の変動はあるものの、直近5年間の平均病院死亡率は約8%台となっています。

当科では毎年のように数例の新生児開心術を行っておりますが、2020年以降、全例生存退院を継続出来ており、本年6月の症例が無事元気に退院されたことで、連続20例に達しました。

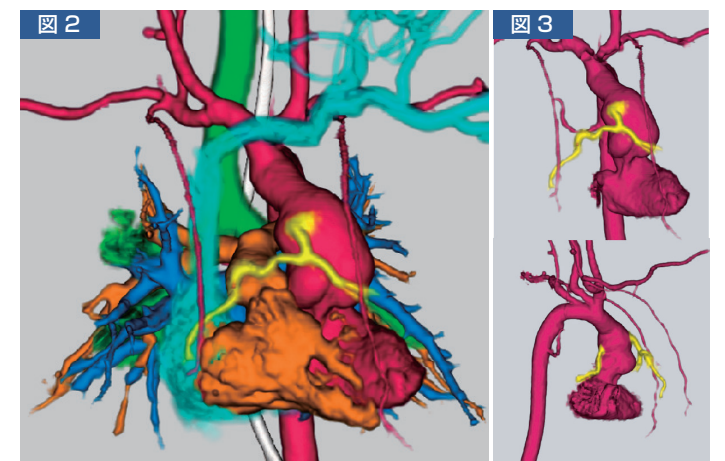
今回は、完全大血管転位症（大血管 side by side/ 冠動脈分類 Shaher 4 型）、心室中隔欠損、卵円孔開存（図1）に対して、動脈スイッチ手術（original Jatene 手術）+心室中隔欠損閉鎖、心房中隔欠損閉鎖を行い（図2、3）、先日術後6週間で元気に退院されました。

20例の内訳（平均）としては、生後10日目、手術時体重2.9kgで、完全大血管転位症に対する動脈スイッチ手術6例、大動脈縮窄/ 離断複合に対する一期的心内修復術6例などとなっています。

我々は山陰唯一の小児心臓外科手術を実施する施設として、これからも1例1例を大切にしながら、先天性心疾患を持つ患者さんの外科治療に尽力いたします。



術前3D CT
右心室(赤)から大動脈が、左心室(オレンジ)から肺動脈が起始している



動脈スイッチ手術後3D CT
大動脈と肺動脈を入替え、冠動脈(黄)を移動/再建しており、狭窄のない、問題ない形態となっている

問い合わせ先 循環器外科医局 TEL:0853-20-2225



島大病院ニュース 2026年 9 月

ご報告

米国内科学会 日本支部年次総会・講演会において、 最優秀演題として「黒川賞」を受賞！

救急医学講座 助教 さとう りえ
佐藤 利栄

このたび、米国内科学会（American College of Physicians : ACP）日本支部年次総会・講演会において、臨床研究部門の最優秀演題に贈られる「黒川賞」(*)を受賞しました。

ACP 日本支部年次総会は、内科学・総合診療に関する最新の知見を共有する学術集会であり、「黒川賞」は一般演題の査読を経て選出された候補演題による英語での口頭発表で、研究内容や発表の質の総合的な評価に基づき、臨床研究部門および症例報告部門それぞれの最優秀演題に授与されます。

受賞演題は、「Shippu Dependence and Its Association with Insomnia and Depression among Agricultural Workers - A Cross-Sectional Study」です。日常診療では、湿布の処方強く希望される患者さんにしばしば遭遇します。その背景には、湿布の薬理学的な効果だけでなく、「湿布を貼っていると安心する」という心理的な要因が関与しているのではないかという着想から研究を開始しました。本研究では、米国精神医学会の診断基準である DSM-5 の物質依存症スクリーニングを応用した質問票を用いて「湿布依存傾向患者」を抽出し、不眠やうつ状態との関連を横断的に検討しました。その結果、湿布依存傾向患者では、非依存傾向患者と比較して不眠やうつ状態を有する割合が高いことが示され、その背景にある心理・行動学的メカニズムについて考察しました。

英語による口頭発表は大変緊張しましたが、研究の着想やこれまでの取り組みを評価していただけたことは、研究者として大きな励みとなり、大変うれしく思います。今後も日々の診療で感じる疑問を研究につなげ、臨床現場や患者さんに還元できるエビデンスの創出を目指して取り組んでいきたいと思ひます。

※黒川賞についての説明は、こちらをご確認ください（外部サイト）



問合せ先 救急医学講座 TEL : 0853-20-2402



※左：著者



島大病院ニュース 2026年 9 月

ご報告

検食編

検食データを活用した食事改善への取り組み

患者満足度向上WG（栄養治療室）
医療情報部 准教授 かわむら としひこ
河村 敏彦

当院では、患者さんにより満足いただける食事提供を目指して検食アンケートを実施しており、今回はその検食データを用いた解析を行いました。各メニューは 2～4 名の検食者により評価され、満足度（100 点満点）の平均値および標準偏差（Standard Deviation : SD）を算出しました。全体として満足度は高く、多くのメニューが高得点であり、病院食として全体的に良好な質が維持されています。しかし、平均値のみではメニューの特徴や評価の安定性を十分に把握できません。

そこで、平均値と SD を用いたマトリックス図を作成したところ、①高評価だが評価が分かれる群、②低評価かつ不安定な群、③低評価だが安定した群、④高評価かつ安定した群の 4 つに分類され、メニューごとの特徴を視覚的に整理することができました（図）。

例えば、④の E は SD が小さく、高評価かつ安定したメニューであるとわかります。一方、②の G は平均値が低だけでなく SD も大きく、検食者間で評価が分かれる傾向が認められ、要検討メニューであることがわかります。

このように、平均値だけでなく「ばらつき」を組み合わせて解析することで、病院食の品質特性をより多面的に把握できることが示されました。今後も患者さんに安心して満足いただける食事を提供できるよう、検食データを活用しながら、PDCA サイクルによる継続的な品質改善に取り組んでまいります。

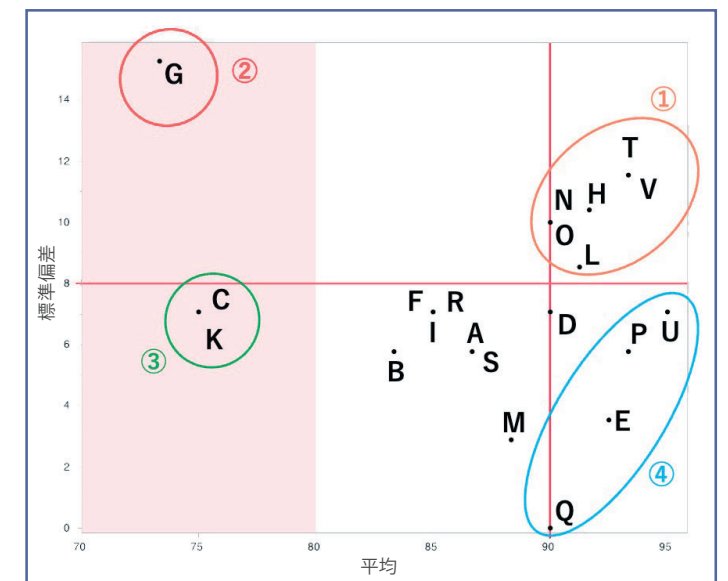


図 メニュー別の品質特性の可視化

問合せ先 医療サービス課 TEL : 0853-88-3401





島大病院ニュース 2026年 9 月

お知らせ



当院における遠隔腹膜透析診療の試み

腎臓内科 教授 ^{かんだ たけし} 神田 武志
助教 ^{おか ともひろ} 岡 朋大

島根県では、腎臓専門医や透析専門医が都市部に集中しており、離島や中山間地域では専門医療の継続が容易ではありません。当院では 2025 年 4 月に遠隔診療を開始し、現在は腹膜透析患者さんにも対象を広げています。このような地域的課題を解決するため、遠隔診療を活用した診療体制の充実を図っています。

腹膜透析は、自宅で行うことができる透析療法であり、通院回数を減らせることから、遠方にお住まいの患者さんにとって有用な治療法です。一方で、体重や血圧、除水量の変化、感染症の兆候などを継続的に確認する必要があり、専門医による定期的な評価が欠かせません。

当院では、患者さんと地域の診療所をオンラインでつなぎ、Teams を活用した遠隔診療を実施しています。また、患者さんには腹膜透析用の自己管理アプリを利用いただき、体重や血圧、除水量などの日々のデータを記録してもらうことで、離れた場所からでも状態を確認できる体制を整えています。さらに、血液検査結果や診療情報を地域医療機関と共有しながら、透析処方の調整や体調管理に役立てています。

この取り組みにより、離島や遠隔地から大学病院へ通院する負担を軽減できるだけでなく、地域のかかりつけ医と専門医が連携して診療を行うことで、患者さんが住み慣れた地域で安心して治療を継続できる環境づくりにつながっています。今後も当院では、遠隔診療を活用しながら地域医療との連携を深め、質の高い腹膜透析医療の提供を目指してまいります。



患者さん向け腹膜透析管理アプリ：テルモPDマイケア
(画像出典：テルモ株式会社)

問合せ先 腎臓内科医局 TEL：0853-20-2122

お知らせ
島大病院ニュース

2026年 9 月 発行
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会
問 合 せ 先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課
TEL：0853-20-2068 FAX：0853-20-2063
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <https://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>



島大病院ニュース 2026年 9 月

ご報告



やすらぎの時間を彩る屋上庭園

緩和ケアセンター	センター長	おおの 大野	さとし 智
緩和ケアセンター	看護師長	みよし 三吉	ゆみこ 由美子
C 病棟 5 階	看護師長	せのお 妹尾	ちえ 千恵

当院の緩和ケア病棟には屋上庭園があり、天気の良い日には庭園を散歩することができます。ボランティアの皆さまがいつも心を込めて手入れして下さる花壇では、四季折々の様々な花を楽しむことができます。

リハビリテーションの時には、車いすやリクライニング車椅子で散歩を楽しまれ、治療への活力となっています。また、上階の小児病棟からも季節の彩りを楽しめるよう工夫されており、好評です。

現在はボランティアの方々のご自宅から持ち寄られた花々が、黄色、赤、ピンク、白と色とりどりに咲き誇り、入院中の患者さん、ご家族の皆さまに癒しと喜びを届けています。

ボランティアの皆さまのおかげで、花は元気に育ち、さらに範囲が拡大し、大きく成長しています。ボランティアの皆さま、いつも本当にありがとうございます。



問合せ先 緩和ケア病棟（C 病棟 5 階） TEL：0853-20-2615

ご報告
島大病院ニュース

2026年 9 月 発行
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会
問 合 せ 先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課
TEL：0853-20-2068 FAX：0853-20-2063
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <https://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>





島大病院ニュース 2026年 9 月

ご報告

産後の女性職員を対象とした健康教室トライアルを実施しました

リハビリテーション部 部長 まにわ 馬庭 壮吉
療法士長 えぐさ のりまさ 江草 典政
理学療法士 ふくたに さやか 福谷 早耶香

院内の女性職員を対象としたアンケート調査の結果から、産後の身体症状として「腰痛」と「尿もれ」が多いことがわかりました。

リハビリテーション部では、これらの症状の緩和を目的とした院内職員向け健康教室の開催を計画しています。このたび、本開催に向けたニーズの把握や運営体制の検証のため、試行的に院内を対象にトライアル教室を開催しました。腰痛を対象とした「ボディケアコース」と尿もれを対象とした「骨盤底ケアコース」を用意し、各コースに5名程度が参加しました。

当日は、まず座学でそれぞれ症状の病態や妊娠・出産による影響について理解を深め、続いてストレッチや筋力トレーニングの実技を実施しました。参加者は真剣に取り組んでいましたが、実技や終了後の質疑応答では談笑する場面もみられ、終始和やかな雰囲気でした。

この健康教室では、身体症状の対処法を学んでもらうだけでなく、日ごろ持つことが出来ない「自分のために使う時間」を確保する機会にして欲しいと願っています。実施後のアンケートでは「自分のことは後回しにしがちなので自分の体と向き合う時間ができた」「他の参加者と交流し情報共有できた」との感想をもらい、開催側にとっても、講習会の意義や価値を改めて感じる事ができました。

この結果をもとに、院内職員を対象とした本開催に向けてよりよい運用方法を検討してまいります。

問合せ先 リハビリテーション部 TEL：0853-20-2457



ボディケアコース参加者のみなさん



島大病院ニュース 2026年 9 月

ご報告

2026年度医学部オープンキャンパスについて

学務課入試担当

2026年8月1日（土）に医学部オープンキャンパスを開催しました。入試広報の一環として、高校生を対象に毎年行っているものです。今年度は医学科287名、看護学科198名の計485名（保護者等付添者含む）の方にご参加いただきました。

医学科では学科紹介・入試等の説明後、医学英語の模擬授業や医療体験実習、交流会を行いました。模擬授業をはじめ、皮膚科実習や放射線測定、シミュレーター実習は、「貴重な体験ができた」「進学したいという気持ちが高まった」と大変好評でした。

看護学科では学科紹介・入試説明の後、3グループに分かれ、健康教育や赤ちゃんのお世話体験、トリアージの模擬演習を行いました。希望者が参加したキャンパスツアーでは、実際にキャンパス内を歩いて回ること、普段の学生生活を具体的にイメージできる機会となりました。

今年度も、各学科で在学生と参加者の交流の場が設けられ、先輩学生から直接話を聞く中で、「ホームページだけでは知らない島根大学医学部の魅力を知ることができた」「学部雰囲気・情報等について知ることができた」などの感想が寄せられました。

今年度も会場型のオープンキャンパスに加え、WEB型として、学科長による学科紹介動画を大学HPに掲載しています。当日参加できなかった方を含め、島根大学医学部の魅力について知るきっかけになることを期待しています。

問合せ先 学務課入試担当 TEL：0853-20-2087



医学科医療体験実習（シミュレーター実習）



医学科医療体験実習（皮膚科実習）



看護学科模擬演習（赤ちゃんのお世話体験）



看護学科模擬演習（トリアージ）



2026年9月発行
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会
問 合 せ 先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課
TEL：0853-20-2068 FAX：0853-20-2063
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ

<https://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>



2026年9月発行
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会
問 合 せ 先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課
TEL：0853-20-2068 FAX：0853-20-2063
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ

<https://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>





島大病院ニュース 2026年 9 月

ご報告



血圧計の説明



集中治療部にて



一般病棟内にて

「高校生の1日看護体験」を開催しました！

看護部長 かわかみ としえ
川上 利枝

島根県および島根県看護協会の事業の一環として、2026年8月3日（月）に県内の高校生を対象とした「1日看護体験」を開催しました。この取り組みは、看護の心や仕事の魅力を伝え、将来看護職を目指すきっかけとなることを目的としています。

今年度は県内17校から56名の高校生が参加し、看護体験48名、助産体験8名に分かれて、一般病棟や手術部、ICU、NICUなど21部署で看護の現場を実際に体験しました。

参加者からは、「看護師さんが患者さんに笑顔で接していて、楽しそうに仕事をされている様子を見て、私も病気で苦しんでいる人を楽にするお手伝いをしたいと思いました」「医療に係わる人の仕事を深く知ることができて良かった」「これからの進路に活かしていこうと思いました」「夢に近づけるよう頑張ろうという気持ちが強くなりました」といった感想が寄せられました。今回の体験を通して、看護職への理解と関心を深め、自身の将来について考える貴重な機会となったことを大変嬉しく思います。

また、参加を後押ししてくださった県内の教職員の皆様に心より感謝申し上げます。今後も地域や教育機関と連携しながら、看護の道を志す若い世代の成長を温かく支え、地域医療を担う人材の育成につなげてまいります。

問合せ先 看護管理室 TEL：0853-20-2478



2026年9月発行
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会
問 合 せ 先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課
TEL：0853-20-2068 FAX：0853-20-2063
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ

<https://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>



島大病院ニュース 2026年 9 月

ご報告



講座開設10周年記念祝賀会 集合写真

Acute Care Surgery講座は 設立10周年を迎えました

Acute Care Surgery講座 教授 わたなべ ひろあき
渡部 広明

Acute Care Surgery 講座は、本年、設立 10 周年の節目を迎えました。

2016年1月、島根大学医学部は、我が国初の医学部講座として Acute Care Surgery 講座を開設しました。Acute Care Surgery は、外傷外科、救急外科、外科的集中治療、surgical rescue を専門とする外科の新たな領域として、2005年に米国で誕生した診療分野です。

本学医学部附属病院では、Acute Care Surgery 講座のスタッフを中心として、2016年4月にその臨床実践の場となる高度外傷センターを設置し、本格的な外傷診療を開始しました。

2017年8月には高度外傷センター棟が完成し、国立大学病院として初となるハイブリッド ERを整備するとともに、重症外傷患者を同時に4名受け入れることができる診療体制を構築しました。

その後、全国から Acute Care Surgery を学びたいという若手医師が少しずつ集まり、これまでに42名の医師が本講座で研鑽を積み、現在、全国各地で活躍しています。

設立 10 周年を迎えた本年7月25日（土）には、講座開設 10 周年記念祝賀会を開催しました。椎名病院長をはじめ、日本 Acute Care Surgery 学会理事長、日本外傷学会理事など、多くの来賓の皆様から温かいご祝辞をいただき、これまでの10年を振り返るとともに、新たな歩みへの決意を深める機会となりました。

本講座は、これからもわが国の Acute Care Surgery を牽引する施設の一つとして、診療・研究・教育のさらなる発展に取り組んでまいります。

問合せ先 Acute Care Surgery 講座 TEL：0853-20-2757



2026年9月発行
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会
問 合 せ 先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課
TEL：0853-20-2068 FAX：0853-20-2063
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ

<https://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>





島大病院ニュース 2026年 9 月

ご報告



島大病院ニュース 2026年 9 月

ご報告

「ELNEC-Jコアカリキュラム 看護師教育プログラム」を開催しました

緩和ケアセンター 看護師長 みよし ゆみこ
三吉 由美子

院内の看護師を対象に 2026 年 7 月 18 日（土）、8 月 1 日（土）の 2 日間にわたり「ELNEC-J コアカリキュラム看護師教育プログラム（※）」を開催いたしました。

がんのみならず慢性疾患や老いなど、すべての患者さん、ご家族へ質の高いエンド・オブ・ライフケアが提供できるように、知識・技術を習得することを目指した研修です。

研修内容は、下記 1 から 10 の内容を系統的・包括的に学習ができるプログラムになっています。講義やロールプレイ、グループワークでケーススタディーを学び、すぐに実践に活かすことができる内容としました。今年度は、16 名の参加があり「看護の視点が広がった、本当に多くの学びがある研修でした。」「病棟に即した内容が聞けてよかったです。インフォームドコンセントの前後の関わり、コミュニケーションスキル、悲嘆の関わりなど勉強になりました。病棟に活かせることが多くあると思うので、頑張っていきたいと思いました。」などの感想がありました。

院内にはこの研修の指導者が 5 名います。今回の研修で指導者もたくさんのかことを学ばせていただきました。これからも一緒にエンド・オブ・ライフケアについて考え、実践していき、エンド・オブ・ライフケアの質の向上のために、この研修を継続していきたいと思っています。



研修修了者



事例検討会の様子

ロールプレイの様子

研修内容
1. エンド・オブ・ライフケアにおける看護
2. 痛みのマネジメント
3. 症状マネジメント
4. エンド・オブ・ライフケアにおける倫理的問題
5. エンド・オブ・ライフケアにおける文化への配慮
6. コミュニケーション 患者の意思決定を支えるために
7. 喪失・悲嘆・死別
8. 臨死期のケア
9. 高齢者のエンド・オブ・ライフケア
10. 質の高いエンド・オブ・ライフケアの達成

※ELNEC-J (End-of-Life Nursing Education Consortium -Japan)
質の高いエンド・オブ・ライフ・ケアを提供するために、必要な基本的知識を学び、看護師の役割について考えることができる教育プログラムのこと

問合せ先 緩和ケアセンター TEL：0853-20-2441



健康ハート・ライトアップ2026 ～TSKさんいん中央テレビ～

循環器内科 たなべ じゅんや
田邊 淳也

8 月 10 日の「健康ハートの日」に合わせて、TSK さんいん中央テレビの鉄塔が、ハートを象徴する赤色にライトアップされました。松江の夜空に浮かび上がる赤い鉄塔は、市街地の夜景と美しく調和し、地域の皆さまへ心臓の健康を考えるメッセージを届けました。

「健康ハートの日」は、数字の「810」が「ハート」と読めることから、日本心臓財団が 1985 年に提唱した啓発日です。「健康ハート・ライトアップ 2026」では、全国各地の施設やランドマークを赤く照らし、循環器病の予防と心臓の健康の大切さを広く発信しています。

心不全をはじめとする循環器病への対策には、発症予防と早期発見に加え、急性期治療から退院後の生活支援まで切れ目なくつなぐことが重要です。その実現には、病院とかかりつけ医、地域の医療機関、薬局、訪問看護、介護・福祉関係者など、多職種・多機関の連携が欠かせません。今回のライトアップは、循環器病への関心を高めるとともに、地域全体で心臓を守るという共通の思いを発信する機会となりました。

当院は今後も、地域の医療・介護関係者の皆さまと顔の見える連携を深め、循環器病の予防、早期診断、適切な治療、再発・再入院予防に取り組んでまいります。本企画にご協力いただいた TSK さんいん中央テレビをはじめ、関係者の皆さまに心より御礼申し上げます。

問合せ先 循環器内科医局 TEL：0853-20-2249





島大病院ニュース 2026年 9 月

お知らせ

脳梗塞の再発予防へ

-経皮的卵円孔開存(PFO)閉鎖術の施設認定を取得しました-

循環器内科 診療科長

なかむら かずふみ

中村 一文

おかだ たいじ

岡田 大司

循環器内科/心疾患イノベーションセンター 助教

当院循環器内科は、日本心血管インターベンション治療学会（CVIT）が運用する**経皮的卵円孔開存（PFO）閉鎖術の CVIT 施設認定**を取得し、院内での PFO 閉鎖術の提供体制を整備しました。

・ PFO と脳梗塞の関係

PFO は、胎児期に存在する心房間の通路「卵円孔」が出生後も残存した状態で、多くは無症状です。一方、静脈血栓が PFO を介して動脈側へ流入すると、奇異性塞栓による脳梗塞を起こすことがあります。特に、原因を特定できない潜因性脳梗塞では、PFO が原因の一つとなることがあります。PFO が脳梗塞に関与していると判断された場合、再発予防として経皮的 PFO 閉鎖術が治療選択肢となります。

・ 脳卒中センターと連携して適応を判断

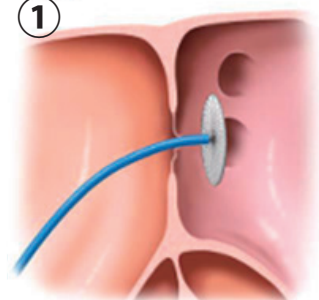
PFO が見つかっただけで閉鎖術を行うわけではなく、心房細動など他の脳梗塞の原因を十分に検索したうえで、治療適応を判断します。当院では、循環器内科と高度脳卒中センターが月 1 回「ブレインハートチームカンファレンス」を開催し、脳梗塞の経過や画像所見、心エコー検査所見などをもとに、PFO 閉鎖術の適応を症例ごとに検討しています。

・ 地域の先生方へ

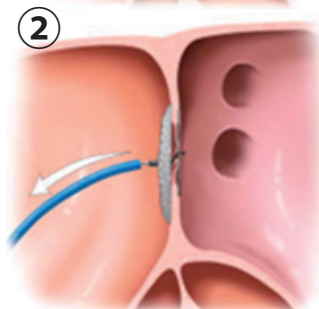
若年～中年の脳梗塞で原因が明らかでない場合や、奇異性塞栓・PFO の関与が疑われる場合には、ぜひ当院へご紹介ください。循環器内科と高度脳卒中センターが連携し、適応評価から治療、フォローアップまで一貫した対応をまいります。



①



②



PFOに対するカテーテル閉鎖術の流れ
※潜因性脳梗塞に対する経皮的卵円孔開存閉鎖術の手引き第2版から引用改変

問合せ先

循環器内科医局

TEL : 0853-20-2249

お知らせ

島大病院ニュース

2026年 9 月 発行

編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会

問 合 せ 先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課

TEL : 0853-20-2068 FAX : 0853-20-2063

◆島根大学医学部附属病院 ホームページ

<https://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>

